

男鹿市児童施設総合管理計画

平成 30 年 12 月

市民福祉部健康子育て課

男鹿市児童施設総合管理計画（目次）

■はじめに（P 1）

1. 施設の現状（P 1）

(1) 幼稚園

- ① 若美幼稚園
- ② いづみ幼稚園（参考）

(2) 認定こども園（船川保育園）

(3) 保育園

- ① 船越保育園
- ② 脇本保育園
- ③ 北浦保育園
- ④ 五里合保育園
- ⑤ 若美南保育園
- ⑥ 玉ノ池保育園

(4) 放課後児童健全育成事業所

- ① 船川児童クラブ
- ② 船越児童クラブ
- ③ 脇本児童クラブ
- ④ 北浦児童クラブ
- ⑤ 五里合児童クラブ
- ⑥ 払戸児童クラブ
- ⑦ 美里児童クラブ
- ⑧ 野石児童クラブ

2. 職員の内訳と運営経費（P 7）

(1) 職員の内訳

- ① 幼稚園、認定こども園、保育園
- ② 放課後児童健全育成事業所

(2) 運営経費

- ① 幼稚園、認定こども園、保育園
- ② 放課後児童健全育成事業所

3. 児童数の見込み（P 9）

- (1) 市全体の人口推計
- (2) 地区別幼児施設対象者（0～5歳）数の推計

4. 各施設に関する課題（P 13）

(1) 幼稚園、認定こども園及び保育園

- ① 船川保育園
- ② 船越保育園
- ③ 脇本保育園
- ④ 北浦保育園
- ⑤ 五里合保育園
- ⑥ 若美南保育園
- ⑦ 若美幼稚園
- ⑧ 玉ノ池保育園

(2) 放課後児童健全育成事業所

- ① 船川児童クラブ
- ② 船越児童クラブ
- ③ 脇本児童クラブ
- ④ 北浦児童クラブ
- ⑤ 五里合児童クラブ
- ⑥ 払戸児童クラブ
- ⑦ 美里児童クラブ
- ⑧ 野石児童クラブ

5. 総合的な方針（P 16）

(1) 幼稚園、認定こども園及び保育園

- ① 船川保育園
- ② 船越、五里合、若美南、玉ノ池保育園
- ③ 脇本保育園
- ④ 北浦保育園
- ⑤ 若美幼稚園

(2) 放課後児童健全育成事業所

- ① 船川児童クラブ
- ② 船越児童クラブ
- ③ 脇本、北浦、美里児童クラブ
- ④ 五里合、野石児童クラブ
- ⑤ 払戸児童クラブ

■はじめに

この計画は、本市の教育・保育施設及び放課後児童健全育成事業所について、配置、改修、統廃合、定員など管理に関する総合的な方針を定める。

策定に当たっては、男鹿市公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月策定）の趣旨に従い、公共施設等の長寿命化、公共建築物の削減、公共施設等の工事平準化を目指すこととした。

1. 施設の現状

各施設の所在、構造、規模、定員、利用人員、職員配置（臨時職員を含む。）などは、次のとおり。

各施設の構造から平均的な耐用年数を想定し、男鹿市公共施設等総合管理計画の第 3 章「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の基本方針」に示されている「長寿命化の考え方」と各施設の現状に基づき考察を加えた。

(1) 幼稚園

① 若美幼稚園（令和 3 年 3 月末で閉園）

所 在	鵜木字白榎 1	定 員	80 人
建 築 年	平成 4 年（1992 年）築 28 年	利用人員	13 人
構 造	鉄骨造平屋建て	職員配置	6 人
床 面 積	599.53 m ²	備 考	預かり保育

② いづみ幼稚園（参考）

所 在	脇本脇本字中野 26-9	定 員	65 人
建 築 年	平成 23 年（2011 年）築 9 年	利用人員	54 人
構 造	木造 2 階建て	職員配置	21 人
床 面 積	431 m ²	備 考	事業所内保育

(2) 認定子ども園（船川保育園）

所 在	船川港船川字外ヶ沢 123-1	定 員	150 人
建 築 年	平成 21 年（2009 年）築 11 年	利用人員	90 人
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建て	職員配置	32 人
床 面 積	1,301.37 m ²	備 考	一時保育

【考察】

船川保育園は、建築から 11 年が経過しており、9 年後の 2029 年頃には小規模改修が必要な状態となる可能性がある。

(3) 保育園

① 船越保育園

所 在	船越字本町 9-1	定 員	205 人
建 築 年	平成 15 年（2003 年）築 17 年	利用人員	155 人
構 造	木造平屋建て	職員配置	47 人
床 面 積	1,106.96 m ²	備 考	一時保育

【考察】

船越保育園は、建築から 17 年が経過しており、3 年後の 2023 年頃には大規模改修が必要な状態となる可能性がある。

② 脇本保育園

所 在	脇本脇本字前野 7	定 員	100 人
建 築 年	平成 17 年（2005 年）築 15 年	利用人員	69 人
構 造	木造平屋建て	職員配置	29 人
床 面 積	999.10 m ²	備 考	休日保育

【考察】

脇本保育園は、建築から 15 年が経過しており、5 年後の 2025 年頃には大規模改修が必要な状態となる可能性がある。

③ 北浦保育園

所 在	北浦北浦字鍛冶屋長根 52-2	定 員	60 人
建 築 年	昭和 57 年（1982 年）築 38 年	利用人員	18 人
構 造	木造平屋建て	職員配置	12 人
床 面 積	640.12 m ²	備 考	

【考察】

北浦保育園は、建築から 38 年が経過しており、大規模改修又は建替えを検討する必要がある。

④ 五里合保育園

所 在	五里合神谷字下石 27	定 員	60 人
建 築 年	平成 27 年（2015 年）改装 5 年	利用人員	11 人
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建て	職員配置	12 人
床 面 積	728.61 m ²	備 考	

【考察】

五里合保育園は、旧五里合小学校を改装した五里合市民センターに併設されており、当分の間は小破修理程度で間に合うと考えられる。

⑤ 若美南保育園

所 在	払戸字渡部 13	定 員	90 人
建 築 年	平成元年（1989 年）築 31 年	利用人員	54 人
構 造	木造平屋建て	職員配置	21 人
床 面 積	779.47 m ²	備 考	一時保育

【考察】

若美南保育園は、建築から 31 年が経過しており、現に大規模改修が必要な状態となっている。

⑥ 玉ノ池保育園

所 在	野石字玉ノ池 1-483	定 員	45 人
建 築 年	昭和 58 年（1983 年）築 37 年	利用人員	10 人
構 造	木造平屋建て	職員配置	10 人
床 面 積	301.26 m ²	備 考	

【考察】

玉ノ池保育園は、建築から 37 年が経過しており、大規模改修又は建替えを検討する必要がある。

(4) 放課後児童健全育成事業所（利用人員は、1日の平均利用人数）

① 船川児童クラブ

所 在	船川港船川字漆畑 35	定 員	40 人
建 築 年	平成 27 年（2015 年）改装 5 年	登録人員	46 人
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階建て	利用人員	12 人
床 面 積	123 m ²	職員配置	4 人

【考察】

船川児童クラブは、船川第一小学校の校舎を使用しており、小学校の改修や建替えと一緒に整備を図っていくべきと考える。

② 船越児童クラブ

所 在	船越字本町 7	定 員	76 人
建 築 年	昭和 51 年（1976 年）築 44 年	登録人員	115 人
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階建て	利用人員	45 人
床 面 積	126 m ²	職員配置	8 人

【考察】

船越児童クラブは、船越小学校の校舎を使用しており、小学校の改修や建替えと一緒に整備を図っていくべきと考える。

また、登録数、利用人員ともに市内最大であり、他の児童クラブと比べて利用人員一人当たりの床面積が狭い状態となっている。

③ 脇本児童クラブ

所 在	脇本脇本字上野 1-1	定 員	38 人
建 築 年	平成 6 年（1994 年）築 26 年	登録人員	50 人
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建て	利用人員	18 人
床 面 積	64 m ²	職員配置	3 人

【考察】

脇本児童クラブは、脇本第一小学校の校舎を使用しており、小学校の改修や建替えと一緒に整備を図っていくべきと考える。

④ 北浦児童クラブ

所 在	北浦北浦表町字表町 19	定 員	40 人
建 築 年	平成 13 年 (2001 年) 築 19 年	登録人員	13 人
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階建て	利用人員	10 人
床 面 積	70 m ²	職員配置	3 人

【考察】

北浦児童クラブは、北陽小学校の校舎を使用しており、小学校の改修や建替えと一緒に整備を図っていくべきと考える。

⑤ 五里合児童クラブ

所 在	五里合神谷字下石 27	定 員	20 人
建 築 年	平成 27 年 (2015 年) 改装 5 年	登録人員	4 人
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建て	利用人員	1 人
床 面 積	63 m ²	職員配置	2 人

【考察】

五里合児童クラブは、旧五里合小学校を改装した五里合市民センターに併設されており、当分の間は小破修理程度で間に合うと考えられる。

また、利用人員が少ないことから、統廃合を検討する必要がある。

⑥ 払戸児童クラブ

所 在	払戸字渡部 22	定 員	38 人
建 築 年	昭和 41 年 (1966 年) 築 54 年	登録人員	18 人
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建て	利用人員	7 人
床 面 積	63 m ²	職員配置	3 人

【考察】

払戸児童クラブは、旧払戸小学校の校舎を使用しており、老朽化していることから早期に施設を整備する必要がある。

⑦ 美里児童クラブ

所 在	鵜木字松木境 90	定 員	40 人
建 築 年	昭和 63 年 (1988 年) 築 32 年	登録人員	10 人
構 造	鉄骨造 2 階建て	利用人員	7 人
床 面 積	84 m ²	職員配置	3 人

【考察】

美里児童クラブは、美里小学校の校舎を使用しており、小学校の改修や建替えと一緒に整備を図っていくべきと考える。

⑧ 野石児童クラブ

所 在	野石字牛沢 32	定 員	40 人
建 築 年	平成元年 (1989 年) 築 31 年	登録人員	12 人
構 造	鉄骨造 2 階建て	利用人員	5 人
床 面 積	99 m ²	職員配置	3 人

【考察】

野石児童クラブは旧野石小学校の校舎を使用しており大規模改修の時期を迎えているが、廃校であることから、改修や建替えは現実的ではないと考える。

また、利用人員が少ないことから、統廃合を検討する必要がある。

2. 職員の内訳と運営経費

(1) 職員の内訳

各施設における令和2年4月1日現在の職員の内訳は、次のとおり。

① 幼稚園、認定子ども園、保育園

(単位：人)

施設名	保育士・教諭		調理員		作業手		保育 補助	事務 補助	計
	正	臨時	正	臨時	正	臨時			
①船川保育園	18	4	1	3	1		5	0	32
②船越保育園	27	6	1	4		2	7	0	47
③脇本保育園	14	3	1	2		1	7	0	28
④北浦保育園	6	1	1	1		1	2	0	12
⑤五里合保育園	5	3	1	1		1	1	0	12
⑥若美南保育園	10	3	1	2		1	4	0	21
⑦若美幼稚園	6	0	0	0	0	0	0	0	6
⑧玉ノ池保育園	5	0	1	1		1	2	0	10
計	91	20	7	14	1	78	28	0	168

備考

- 各保育園の正職員の数は、市からの派遣職員と男鹿保育会の正職員の合計。
- 若美幼稚園の正職員には、再任用1人を含む。

② 放課後児童健全育成事業所

(単位：人)

施設名	支援員 (嘱託)	支援員補助(臨時)		計
		雇用保険加入	雇用保険なし	
①船川児童クラブ	2	2	2	6
②船越児童クラブ	4	4	3	11
③脇本児童クラブ	2	1	2	5
④北浦児童クラブ	2	1	2	5
⑤五里合児童クラブ	2		2	4
⑥払戸児童クラブ	2	1	1	4
⑦美里児童クラブ	2	1	2	5
⑧野石児童クラブ	2	1	1	4
計	18	11	15	44

備考 支援補助員の雇用保険なしは、週20時間未満の勤務。

(2) 運営経費

各施設の運営に係る令和2年4月1日現在の事業費予算は、次のとおり。

① 幼稚園、認定子ども園、保育園

(単位：円)

施設名	人件費	光熱水費	修繕費	その他	計
①船川保育園	113,582,000	4,630,000	682,000	14,777,000	133,671,000
②船越保育園	158,854,000	3,324,000	336,000	21,278,000	183,792,000
③脇本保育園	90,617,000	2,820,000	170,000	12,851,000	106,458,000
④北浦保育園	45,859,000	950,000	254,000	5,391,000	52,454,000
⑤五里合保育園	40,500,000	448,000	170,000	3,781,000	44,899,000
⑥若美南保育園	67,521,000	2,950,000	170,000	8,957,000	79,598,000
⑦若美幼稚園	31,036,000	2,156,000	150,000	3,858,000	37,200,000
⑧玉ノ池保育園	34,868,000	591,000	233,000	4,157,000	39,849,000
計	582,837,000	17,869,000	2,165,000	75,050,000	677,921,000

備考

保育園の人件費は、保育会職員の実績に市職員の分を人数で案分して加えたもの。

② 放課後児童健全育成事業所

(単位：円)

施設名	人件費	光熱水費	修繕費	その他	計
①船川児童クラブ	6,298,000	0	10,000	593,000	6,901,000
②船越児童クラブ	12,846,000	0	20,000	1,064,000	13,930,000
③脇本児童クラブ	5,346,000	0	10,000	463,000	5,819,000
④北浦児童クラブ	4,872,000	0	10,000	291,000	5,173,000
⑤五里合児童クラブ	4,011,000	0	5,000	200,000	4,216,000
⑥払戸児童クラブ	4,788,000	351,000	10,000	649,500	5,798,500
⑦美里児童クラブ	4,724,000	0	10,000	412,000	5,146,000
⑧野石児童クラブ	4,968,000	672,000	5,000	649,500	6,294,500
計	47,853,000	1,023,000	80,000	4,322,000	53,278,000

3. 児童数の見込み

(1) 市全体の人口推計

市全体の人口推計は、男鹿市人口ビジョン（平成 27 年 11 月策定）で採用している国立社会保障・人口問題研究所の推計に基づいて、中学校区別に推計したものを引用した。

また、2013 年と 2018 年の住民基本台帳のデータを基に、コーホート変化率法により小学校区別の人口を推計し、その数値と男鹿市人口ビジョンの数値との変化の矛盾を解消するため、小学校区別の合計の数値に補正を加え、そこから補正率を導き出した。

補正及び補正率の考え方は、次のとおり。

【補正及び補正率の考え方】

- 1 2023 年の数値を補正する場合は、その前後の 2020 年と 2025 年の計の数値の差に 3/5 を乗じて得た数を 2020 年の計から減ずる（2028 年以降も同様の計算による）。
- 2 補正後の数値を補正前の数値で除して（補正後／補正前）補正率を算出する。

表 1 地区別将来人口推計

（単位：人）

地 区		2013 年	2018 年	2020 年	2023 年	2025 年	2028 年	2030 年	2033 年
男鹿南	船一	9,232	8,206	7,743	7,146	6,873	6,096	6,032	5,095
男鹿東	船越	5,882	5,738		5,523		5,239		4,916
	脇一	4,625	4,180		3,730		3,260		2,795
	払戸	2,487	2,195		1,909		1,638		1,373
	小計	12,994	12,113	11,292	11,162	10,330	10,137	9,376	9,084
男鹿北	北陽	3,674	3,069	2,930	2,518	2,540	2,012	2,169	1,567
潟 西	旧五里合	1,686	1,472		1,254		1,064		896
	旧鶴木	1,831	1,603		1,384		1,167		975
	旧野石	1,922	1,670		1,424		1,195		985
	小計	5,439	4,745	4,606	4,062	4,115	3,426	3,650	2,856
合計		31,339	28,133	26,572	24,888	23,858	21,671	21,228	18,602
補正後					24,944		22,280		19,725
補正率 (%)					100.22		102.81		106.04

地 区		2035年	2038年	2040年	2043年	2045年	2048年	2050年
男鹿南	船一	5,237	4,176	4,489	3,340	3,805	2,613	3,224
男鹿東	船越		4,581		4,240		3,887	
	脇一		2,358		1,949		1,584	
	払戸		1,126		906		718	
	小計	8,445	8,065	7,534	7,095	6,657	6,189	5,845
男鹿北	北陽	1,829	1,180	1,520	857	1,249	609	1,030
	旧五里合		743		595		460	
	旧鶺木		805		648		506	
	旧野石		796		624		476	
	小計	3,211	2,344	2,785	1,867	2,381	1,442	2,022
合計		18,723	15,765	16,327	13,159	14,092	10,853	12,122
補正後			17,285		14,986		12,910	
補正率(%)			109.64		113.88		118.95	

備考

- 1 着色した列の数値は、男鹿市人口ビジョンから引用したもので、男鹿市全体で推計した数値を地区割りしているため、端数処理の関係で合計が合わない。
- 2 着色していない列の数値は、2013年3月末及び2018年3月末の住民基本台帳のデータを基に、コーホート変化率法により推計したもの。
- 3 2033年以降、備考1と備考2の合計に逆転がみられるため、備考2の推計には補正（上方修正）が必要となる。

(2) 地区別幼児施設対象者（0～5歳）数の推計

表1備考2による地区別の幼児施設対象者数の推計が表2であり、これに同表備考3に基づき補正を加えたものが表3となる。

表2 地区別幼児施設対象者（0～5歳）数の推計 (単位：人)

地区		2013年	2018年	2023年	2028年	2033年	2038年	2043年	2048年
男鹿南	船一	186	143	94	64	44	30	22	16
男鹿東	船越	301	249	218	189	174	159	144	127
	脇一	122	99	75	48	37	27	21	17
	払戸	85	63	44	28	20	16	12	10
	小計	508	411	337	265	231	202	177	154
男鹿北	北陽	52	39	24	14	8	6	4	2
	旧五里合	22	19	12	7	3	2	1	0
	旧鶴木	39	28	20	15	10	8	5	2
	旧野石	39	25	18	12	8	5	2	2
	小計	100	72	50	34	21	15	8	4
合計		846	665	505	377	304	253	211	176
補正後				506	388	322	277	240	209

備考 補正後の数値は、合計の数値に表1の補正率を乗じて1未満の端数を四捨五入したもの。

表3 地区別幼児施設対象者（0～5歳）数の推計（修正後） (単位：人)

地区		2013年	2018年	2023年	2028年	2033年	2038年	2043年	2048年
男鹿南	船一	186	143	94	66	47	33	25	19
男鹿東	船越	301	249	218	194	185	174	164	151
	脇一	122	99	75	49	39	30	24	20
	払戸	85	63	44	29	21	18	14	12
	小計	508	411	337	272	245	222	202	183
男鹿北	北陽	52	39	24	14	8	7	5	2
	旧五里合	22	19	12	7	3	2	1	0
	旧鶴木	39	28	20	15	11	9	6	2
	旧野石	39	25	18	12	8	5	2	2
	小計	100	72	50	34	22	16	9	4
合計		846	665	505	386	322	278	241	208

備考 着色したセルは、表2の数値に表1の補正率を乗じて1未満の端数を四捨五入したもので、端数処理の関係上、表2の合計との間に誤差が生じている。

表3を基に、市立の幼児施設ごとに地域を設定した場合の対象者数を表4に表した。

若美幼稚園については、便宜上、旧鷺木小学校の校区を割り当てた。

また、参考までに2018年の就園率から将来の利用者数を推計したものを表5に表した。

表4 保育園、幼稚園ごとに地域を設定した場合の対象者数の推計 (単位：人)

施設名	2013年	2018年	2023年	2028年	2033年	2038年	2043年	2048年
①船川保育園	186	143	94	66	47	33	25	19
②船越保育園	301	249	218	194	185	174	164	151
③脇本保育園	122	99	75	49	39	30	24	20
④北浦保育園	52	39	24	14	8	7	5	2
⑤五里合保育園	22	19	12	7	3	2	1	0
⑥若美南保育園	85	63	44	29	21	18	14	12
⑦若美幼稚園	39	28	20	15	11	9	6	2
⑧玉ノ池保育園	39	25	18	12	8	5	2	2
合計	846	665	505	386	322	278	241	208
⑥+⑦+⑧	163	116	82	56	40	32	22	16
⑤+⑥+⑦+⑧	185	135	94	63	43	34	23	16

備考 若美幼稚園は、便宜上旧鷺木小学校の数値を採用した。

表5 2018年の就園率を採用した場合の園児数の推計(参考) (単位：人)

施設名	就園率	2018年	2023年	2028年	2033年	2038年	2043年	2048年
①船川保育園	69.93%	100	66	46	33	23	17	13
②船越保育園	65.46%	163	143	127	121	114	107	99
③脇本保育園	82.83%	82	62	41	32	25	20	17
④北浦保育園	76.92%	30	18	11	6	5	4	2
⑤五里合保育園	78.95%	15	9	6	2	2	1	0
⑥若美南保育園	92.06%	58	41	27	19	17	13	11
⑦若美幼稚園	85.71%	24	17	13	9	8	5	2
⑧玉ノ池保育園	48.00%	12	9	6	4	2	1	1
⑥+⑦+⑧		94	66	45	33	27	19	14
⑤+⑥+⑦+⑧		109	76	51	35	28	20	14

備考 2023年以降の数値は、表4の対象者数(推計値)に2018年の就園率を乗じたもの。

4. 各施設に関する課題

(1) 幼稚園、認定子ども園及び保育園

① 船川保育園

- ・ 現時点で建物に関する大きな問題点はない。
- ・ 利用者数は、10年後に半減、20年後にはさらに半減する見込みとなっている。

② 船越保育園

- ・ 市内では、最も利用者数の多い保育園であり、将来的な利用者数の減少の割合も緩やかと推計される。
- ・ 木造であることから、5年後の2025年頃をめどに大規模改修を行い、施設の長寿命化に努める必要がある。

③ 脇本保育園

- ・ 将来的には、利用者数が船川保育園と逆転する可能性がある。
- ・ 木造であることから、5年後の2025年頃をめどに大規模改修を行い、施設の長寿命化を図る必要がある。

④ 北浦保育園

- ・ 木造で建築後38年が経過していることから、大規模改修又は建替えを検討する必要がある。
- ・ 今後定期的に修繕し、長寿命化を図る。
- ・ 北陽小学校の学区内では人口減少率も大きく、3年後には利用者数が15人を切る可能性が高い。

⑤ 五里合保育園

- ・ 現在の利用者数は12人であり、3年後には10人を切る可能性が高い。
- ・ 現在の利用者数と職員数の割合は、職員1人に対し利用者数が0.91人であり、効率は極めて悪い。

⑥ 若美南保育園

- ・ 外部の劣化が著しく、頻繁に雨漏りが発生している。また、受水槽は老朽化により更新が必要な状態である。
- ・ 建物全体は、現時点で大規模改修が必要な状態となっている。

- ・ 現在の利用者数と職員数の割合は、職員 1 人に対し利用者数が 2.66 人であり、園児数の多い保育園（船川保育園、船越保育園及び脇本保育園）と比較すると効率は良くない。

⑦ 若美幼稚園

- ・ 平成 30 年度に外壁の劣化が原因で雨漏りが 2 ヶ所で発生した。部分的な修繕はしたものの、全面的な外壁改修などの検討時期となっている。
- ・ 今後の利活用の状況によっては、大規模改修が必要となる可能性がある。
- ・ 令和 3 年 3 月末で閉園。

⑧ 玉ノ池保育園

- ・ 今後、外壁の塗装工事が必要となる見込み。
- ・ 木造で建築後 37 年が経過していることから、大規模改修又は建替えを検討する必要がある。
- ・ 現在の利用者数と職員数の割合は、職員 1 人に対し利用者数が 1.00 人であり、効率は極めて悪い。

(2) 放課後児童健全育成事業所

① 船川児童クラブ

- ・ 今後、児童数の減少から急速に利用児童が減少する懸念はあるが、現時点では大きな問題はないと考えられる。

② 船越児童クラブ

- ・ 他の児童クラブと比べて児童一人当たりの床面積が小さい状態であるが、今後利用者数の減少が見込まれることから、大きな問題はないと考えられる。

③ 脇本児童クラブ

- ・ 今後、児童数の減少から急速に利用児童が減少する懸念はあるが、現時点では大きな問題はないと考えられる。

④ 北浦児童クラブ

- ・ 今後、児童数の減少から急速に利用児童が減少する懸念があり、小学校の存廃と合わせてあり方を検討していくべきと考えられる。

⑤ 五里合児童クラブ

- ・ 職員一人当たりの児童数が 0.50 人であり、効率は非常に悪い。

⑥ 払戸児童クラブ

- ・ 施設が老朽化しており、早期に整備する必要がある。
- ・ 職員一人当たりの児童数が 3.33 人であり、効率は良くない。
- ・ 今後、児童数の減少からさらに利用児童が減少する懸念があり、小学校の存廃と合わせてあり方を検討していくべきと考えられる。

⑦ 美里児童クラブ

- ・ 職員一人当たりの児童数が 4.33 人であり、効率は良くない。
- ・ 今後、児童数の減少からさらに利用児童が減少する懸念があり、小学校の存廃と合わせてあり方を検討していくべきと考えられる。

⑧ 野石児童クラブ

- ・ 職員一人当たりの児童数が 2.67 人であり、効率は良くない。

5. 総合的な方針

(1) 幼稚園、認定こども園及び保育園

施設の長寿命化を考慮した場合、今後 10 年以内に大規模改修が必要となると見込まれる施設は、船越保育園（3 年後）、脇本保育園（5 年後）の 2 園となっている。若美幼稚園は令和 3 年 3 月末で閉園となるため、今後の施設の再利用について検討していく必要がある。

現在、既に大規模改修が必要な状態となっているのは若美南保育園で、北浦保育園と玉ノ池保育園は、対応年数を考慮すると大規模改修又は建替えを検討する必要がある。

利用対象者数の推計から、8 年後に利用対象者数が 20 人を切る施設は、北浦保育園（14 人）、五里合保育園（7 人）及び玉ノ池保育園（12 人）の 3 施設となっている。

各施設の状況、利用対象者数の推計、保育に携わる職員の配置などを考慮し、各施設に関する今後の方針を次のとおりとする。

① 船川保育園

将来的には利用対象者数の減少が懸念されるが、施設がまだ新しく、810 年後の 2028 年においては単独で施設を維持できる程度の利用対象者がいるものと推計されることから、施設の長寿命化を図るため 2029 年をめどに小規模改修を実施する。

② 船越保育園、五里合保育園、若美南保育園、玉ノ池保育園

船越保育園は建築から 17 年が経過し、施設自体も老朽化が進んでいる。また、若美南保育園及び玉ノ池保育園についても施設の老朽化が進んでいることから早期の整備が必要な状態である。

船越保育園は、現在の場所では駐車場も狭く園児の送迎の際危険性を伴い、また利便性も悪いことから、新たな場所における新施設の建設を検討する。また、玉ノ池保育園及び五里合保育園については、利用者数が著しく減少しており、効率の面からも教育的な見地からも単独で施設を運営することが合理的とは言えない状況であることから、4 園を統合し船越地区に新たな施設を建設する。

なお、五里合保育園、玉ノ池保育園は船越地区に建設される新施設から園児の送迎時間に片道 30 分程の時間を要することから、統合される若美南保育園を含む 3 園の地域における園児に関しては、3～5 歳児については園バスの利活用、0～2 歳児については小規模保育事業所の開設等を

検討していく必要がある。

ただし、五里合保育園については、平成 27 年度に国の補助事業による整備を実施しており、統廃合によって現施設を廃止した場合は、補助金の返還が生じるため、慎重な対応が必要となる。

③ 脇本保育園

将来的には利用対象者数の減少が懸念されるが、8 年後の 2028 年においては単独で施設を維持できる程度の利用対象者がいるものと推計されることから、施設の長寿命化を図るため 2025 年をめどに大規模改修の実施を検討する。

④ 北浦保育園

施設は老朽化しているが、13 年後の 2033 年においては利用対象者数が 10 人を切る推計となっており、建替えは合理的ではない。

また、地理的に他の施設との距離が離れていることから、他の施設への統廃合は困難と考える。

このことから、単独での運営を維持するため、部分改修を重ねながら施設の長寿命化を図り、2025 年をめどに、給食を他の施設から搬入することができる小規模保育事業へと切り替えることを検討する。

⑤ 若美幼稚園

若美幼稚園は令和 3 年 3 月末で閉園となるため、今後の施設の再利用について検討していく必要がある。統合後に伴う小規模保育事業所として再利用できるか検討していく。

(2) 放課後児童健全育成事業所

放課後児童クラブの多くは小学校に併設されていることから、基本的には小学校の改修や統廃合と合わせた運営となる。

① 船川児童クラブ

船川児童クラブについては、併設された船川第一小学校が現状のまま存続するうちは、これまで通り運営を続けていくこととする。

② 船越児童クラブ

船越児童クラブについては、併設された船越小学校が現状のまま存続す

るうちは、これまで通り運営を続けていくこととする。令和7年（予定）に新しく新校舎が建設された場合は、校舎内に児童クラブを開設することを検討する。

③ 脇本児童クラブ・北浦児童クラブ・美里児童クラブ

それぞれの児童クラブについては、併設された小学校が現状のまま存続するうちは、これまで通り運営を続けていくこととする。今後併設された小学校が統合する際は、それぞれの地区に児童クラブまたはその他の保育環境整備を検討する。

- ・北陽小学校 令和7年（予定）船川第一小学校へ統合
- ・脇本第一小学校 令和12年（予定）船越小学校へ統合
- ・美里小学校 令和12年（予定）船越小学校へ統合

④ 五里合児童クラブ・野石児童クラブ

五里合児童クラブ及び野石児童クラブについては、利用人数が減少しており、補助金対象外で効率の面でも問題があることから、早期に美里児童クラブへの統廃合を検討する。

⑤ 払戸児童クラブ

払戸児童クラブについては、施設の老朽化が進んでいるが、小規模修繕を重ね、令和7年（予定）に払戸小学校が船越小学校に統合するまで現在の施設で運営を続ける。統合した際は、払戸地区に児童クラブまたはその他の保育環境整備を検討する。

※男鹿市立小・中学校再編整備計画に伴い放課後健全育成事業所の統合等の時期及び場所においては変更する場合がある。